(第二類)(郵便物認可)　昭和十七年三月二日　(月曜日)　臺灣日日新報　第一萬五千八百九十五號

臺灣日日新報

本日四頁

巡洋艦隻撃沈 大破四隻
米蘭聯合艦隊殲滅
驅逐艦六隻をも撃沈す

【東京發同盟至急報】**大本營發表**（三月一日午後四時）

一、ジャヴァ方面海軍作戰部隊は二月二十七日早朝迄に判明せる戰果左の通り

（一）スラバヤ方面海軍作戰部隊は二月二十七日薄暮より二十八日未明までに敵米英蘭聯合艦隊に屬する巡洋艦三隻、驅逐艦六隻を擊沈、巡洋艦四隻を大破せり

【註】本海戰をスラバヤ沖海戰と呼稱す

（二）バタビヤ方面海軍作戰部隊は三月一日早朝米大巡一隻、濠巡一隻を擊沈せり

【註】本海戰はバタビヤ沖海戰と呼稱す

二、この兩海戰に於てわが蘭印方面所在艦隊は西南太平洋方面敵艦隊主力を概ね殲滅し、尚殘敵掃蕩中なり

三、わが方の損害は驅逐艦一隻小破せるも戰鬪航海に差支へなし

敵艦二隻に直擊彈命中
一隻を目下見事爆碎炎上

【東京發同盟至急報】大本營發表（三月一日午後四時五十分）帝國陸軍航空部隊は二月二十七日、二十八日の兩日に亙りその主力を以つて西部ジャヴア海の敵艦隊を求めて攻撃しスンダ海峽に於いて二千噸級軍艦一隻、驅逐艦一隻に各々確實に直擊彈を命中せしめこれに多大の損害を與へたり

蘭印各地で大戰果
陸鷲・スンダ海峽に大活躍

蘭印軍司令部　損害の多大を認む

【リスボン二十八日發同盟】バタビア來電によれば蘭印軍は二十七日ジャヴア陸海空軍總司令官の下に蘭印各地において大々的陸海空協同作戰を開始し、陸鷲は二十八日午後四時右につき次の如く發表した

一、反攻開始後合同艦隊は二十七日午後ジャヴア方面上空で北方より來襲する日本機隊と猛烈なる空中戰を展開し日本機多數を撃墜した

二、陸鷲はスンダ海峽に上陸し敵飛行場を占領し敵殘存部隊を掃蕩中である

三、蘭印軍は日本軍の上陸地點に對し猛烈なる反撃を加へつつあり

【リスボン二十八日發同盟】バタビア來電によれば蘭印軍は二十七日ジャヴア陸海空軍總司令部の公表が總督には次の如く發表した

一、二月二十七日午後四時現在に於ける蘭印各地に於ける戰況

二、スンダ海峽に於ける日本軍上陸地點に對し我が陸鷲は猛烈なる反撃を加へつつあり

三、ジャヴア海戰

バタビア報道

【リスボン二十八日發同盟】ジャヴア水域における戰況に關する日本發表と交戰國の發表とを對照するに、日本發表は我が方の損害を過小に、敵の損害を過大に發表しているが、ワシントン二十八日發AP電によれば、米海軍當局は二月二十七日ジャヴア方面において日本艦隊と交戰した米、英、蘭、豪の聯合艦隊の一部と見られる十七隻ジャヴア水域の交戰を公表

翼贊政治態勢確立
總選擧を好機に猛展開

翼贊政治態勢協議會の出發

週間展望

政府は去る十八日翼贊政治態勢に於て今次總選擧を機に大東亞戰爭必勝の國家態勢を確立する目的を以て大政翼贊會に協力する翼贊政治態勢協議會を設立する目的を以て大政翼贊會に協力し得る國家の人材が擧國的に推薦せられる樣な國家總動員的な選擧が推薦せられる樣な國家總動員的な選擧が推薦せられる樣な國家總動員的な選擧が

社說

都市發展と住宅營團の使命

補助として小組合の活動も期待

一

各國の主要都市中、人口の增加著しく、住宅不足の問題となるが、都市發展である。過密過疎の解消たる發展性、能力開發と共に、前方役割開發等を主とする特殊なる時、人口の自然增と、主要都市の住宅には不足する點がないではない。今や國家の總力を擧げて大東亞建設の聖業に邁進する我が國として、一面生產力擴充と關聯して、一面生產力擴充と關聯して、一面生產力擴充と關聯して

盟邦の躍進を壽ぎ 盛大な建國節式典

帝都・多彩な慶祝諸行事

【東京發同盟】帝國の與に親くお慶ひ申上げる滿洲國の建國ここに十周年を迎へた二日はその輝かしい建國一周年紀念日をはじめ滿洲國各地では

滿洲國

にゆかりある諸都市は勿論帝都に於ても滿洲國建國十周年紀念日に當つて盛大な祝賀行事が行はれた、この日午前十時から日比谷公會堂に於ては

日比谷公會堂

に於ける紀念式典を中心に滿洲國建國十周年紀念會が開かれ、定刻迄には場内は勿論場外も滿洲國關係者で埋まり、定刻陛下は男女

高松宮殿下台臨

建國祝賀午餐會

【東京發同盟】滿洲國建國十周年紀念日の二日正午から帝國ホテルに於ける

帝國ホテル

の午餐會は

高松宮殿下

の御臨席を仰ぐも畏くも

天皇陛下

の勅使として

東久邇宮

稔彦王殿下

御參列あらせられ、

滿洲國

から

張景惠國務總理

張燕卿參議府議長

謝介石駐日大使

臧式毅駐日大使

張福成駐日大使

胡若愚駐日大使

王子惠駐日大使

王賡駐日大使

王家楨駐日大使

王榮堃駐日大使

王之佑駐日大使

王冠英駐日大使

王靜修駐日大使

王鳳慈駐日大使

王毓祥駐日大使

王瑞麟駐日大使

王鴻猷駐日大使

王鴻儒駐日大使

王鴻賓駐日大使

王鴻恩駐日大使

王鴻福駐日大使

王鴻祿駐日大使

王鴻壽駐日大使

王鴻喜駐日大使

王鴻樂駐日大使

王鴻德駐日大使

王鴻仁駐日大使

王鴻義駐日大使

王鴻禮駐日大使

王鴻信駐日大使

王鴻忠駐日大使

王鴻孝駐日大使

王鴻悌駐日大使

王鴻友駐日大使

王鴻睦駐日大使

王鴻和駐日大使

王鴻順駐日大使

王鴻平駐日大使

王鴻安駐日大使

王鴻泰駐日大使

王鴻康駐日大使

王鴻寧駐日大使

王鴻樂駐日大使

王鴻德駐日大使

王鴻仁駐日大使

王鴻義駐日大使

王鴻禮

大日本新報 第一万五千八十一號 (第三種郵便物認可)

皇軍の爆撃に戰慄
バタヴィアは避難の街
重大危機に直面した爪哇の現狀

【スラボン二十七日發同盟】皇軍の爆撃により開戰以來の最大なるジアワ陸上航空基地の破壊に引續き蘭印軍大本營に對しとどめの痛撃を與へた日本飛行部隊の活躍と相俟つて蘭印軍は今や全く潰滅狀態に陷つたものゝ如く、バタヴィアの蘭印軍總司令部は二十六日夜半に至り遂に全面的降伏を決意するに至